

# 市川南中 家庭学習の手引き

R 3, 4, 5

## 1 家庭学習の意義（重要性）

### ●家庭学習に取り組むと・・・

- ①学校で学んだことを毎日復習することで、学習内容が定着します。
- ②自分で学習する力（見直す力・自己管理能力）や習慣が身に付きます。
- ③毎日続けることで、粘り強さが増し、集中力が高まります。

## 2 実施方法

「家庭学習ノート」は「振り返り」と「演習」からなり、次の手順で進める。

- ① 今日の授業に沿って振り返り、授業のポイント（学んだこと）をまとめる。

- ② 「演習」に取り組む。

取り組んだ演習問題を提出する。直接、「家庭学習ノート」に取り組んでもよい。または、ワークや問題集に取り組んだ場合はそれも提出する。ただし、ノートにはその日に取り組んだワークや問題集名とページ数を必ず記入する。

\*1日の取り組みページ数は各学年で設定する。

## 3 提出とチェック方法

- ①生徒は朝の会の前に提出。（名簿に○をつける。）
- ②チェック担当表に従い、生徒当番は担当の先生に届ける。
- ③担当の先生からチェックを受ける。  
（先生はチェックのサインと生徒へのアドバイスを記入。）



チェック担当表

| 生徒 | 月  | 火  | 水    | 木  | 金  |
|----|----|----|------|----|----|
| 1年 | 担任 | 2年 | 校長教頭 | 3年 | 担任 |
| 2年 | 担任 | 3年 | 校長教頭 | 1年 | 担任 |
| 3年 | 担任 | 1年 | 校長教頭 | 2年 | 担任 |



# 家庭学習のポイント

- 1 家で勉強する時刻決めておく。
- 2 最初に、まず「宿題」をやる。
- 3 復習はその日のうちにやる。
- 4 教科により、時間がある時は予習にも挑戦！

## 学習のいろいろな方法

|                  |                                      |
|------------------|--------------------------------------|
| <b>A: 反復練習型</b>  | ★漢字、計算、英単語などを繰り返し練習する。               |
| <b>B: 練習問題型</b>  | ★教科書や問題集などの練習問題を解く。                  |
| <b>C: 発展練習型</b>  | ★教科書より難しい発展的な問題にも挑戦する。               |
| <b>D: 授業まとめ型</b> | ★学習した内容のポイントを整理してまとめる。               |
| <b>E: 調べ学習型</b>  | ★関心のある内容について、本や新聞、ネット等を使って調べまとめる。    |
| <b>F: 考えまとめ型</b> | ★新聞記事などを読んで考えたことなど、自分の考えを分かりやすくまとめる。 |

## 参考資料

### 家庭学習ノートの例

4月8日(木) 時間 6:30~7:00 8:30~9:30 計 90分

#### ①授業の振り返り

1校時 国語

今日の授業で学んだことをまとめて記入する。

やったことだけにならないように気をつけよう。

最後に授業の反省や感想を書くのもよい。

2校時 音楽

⋮

6校時 学活

#### ②演習

理科

「理科の学習」 取り組みページ数 4P

10 天気の変化 P 5 6

1 ① オ ② 1013 pH

←月 日

取り組んだ時間  
を書く。

←しっかり振り返り  
学んだことをまとめよう。  
まとめ方を自分で工夫しよう。

←ワーク名と取り組んだ  
ページ数を書く。

←演習は必ず答え合わせをして、  
間違えところは、もう一度やろう。  
なぜ間違えたのか分析をすること。

## 「振り返り」の効果的なやり方

- ・はじめに日付と取り組んだ時刻と時間数を記入する。
- ・授業を振り返って内容の項目だけでなく、どんなことを学んだか、どこが大切だったか具体的に思いだし、記入する。まとめるのが難しい生徒は、授業ノートを再度書き出してみる。
- ・授業の自分の感想、課題点などや「自分へのアドバイス」を端的にまとめて書くこともよい。

## 「ワーク等の問題集への取り組み」の

### 効果的なやり方

- ・取り組んだワークや、問題集のページがすぐにわかるように付箋を貼る。
- ・「家庭学習ノート」にも、取り組んだワークや、問題集の名称とページを必ず記入する。  
(提出は両方すること)
- ・ワーク等をやったら、必ず○付けをし、間違いを直す。間違えた問題だけを「家庭学習ノート」にもう一度やると、内容理解が定着する。
- ・漢字練習や単語練習では、最後にミニテストを自分でやってみる。